

栃木県南6市議会 議長会研修会

日時：平成24年8月7日 午後2時～
場所：マリアージュ仙水 こむろ よしえ
講師：(株)ワーク・ライフバランス代表取締役社長 小室 淑恵 氏

『日本を変えるワーク・ライフバランス』

この講演を聞き、大変うれしくなりました。私自身、段階の世代であり、企業の中で大変な残業を生き抜いてきた世代です。同世代の同業者の親で、3歳の子どもに『この人はだれ』と聞かれた話、夜食を食べに行っただんぶりの中に頭を付けて寝ていたという話、24時間電気の消えない建屋等ありました。

出来れば、このような事は無くなって欲しいと思っておりました。

物作りを行っている設計職部門等では、代わりの人が仕事をする事もできず、時間と金の面から残業が発生していました。

人は生きるために働いています。しかし、より良い働き方が有るならば、それに向けて努力もし、改善も進んで行くと思います。

経営者、管理者や労働者そして行政が一体となって問題意識を持ち、努力して行かねばならない問題と思っています。

日本では、ワークライフバランスに全く満足していない割合が16%と、米国、ドイツ等と比較して2倍ほど多いのは問題だと思えます。

出生率向上には、女性の継続就業が必要であり、社会制度の充実が必要とありました。

これには、賛成です。しかし、合計特殊出生率が、アメリカ約2.06、日本約1.4を社会制度の差だけに見るのは少し疑問があります。途上地域は約3、先進地域は約1.6です。米国は多民族で構成されており、その因子が大きい？

いずれにせよ、女性男性が働き易く、子供を育て易く、介護し易い環境整備は重要課題と思えました。